

協定企業名	高知工科大学、高知工科大学後援会
交流行事名	高知工科大―物部川共生の森 2013
開催日時	平成25年11月2日(土) 9:00~15:00
開催場所	香美市物部町笹字猪ノ谷
主な参加者・人数	高知工科大学学生及び教職員 16名 香美市4名、物部森林組合3名、高知県1名 総勢24名
概要	間伐体験、ストックヤード見学
当日の様子	<p>今年も「高知工科大―物部川共生の森」の交流イベントが開催されました。例年は綱附森登山道のクマザサの処理を行っていますが、今年は人工林の間伐を体験しました。</p> <p>作業場所は奥物部ふれあいプラザから車で1時間ほど。指導をしてくれる物部森林組合の方々が迎えてくださいました。早速チェーンソーの使い方について説明があり、安全のためにしっかりと注意喚起が行われました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>ヘルメット、軍手、防護ズボンを装着し、いざ林内へ。</p> <p>参加者は森林組合の方の指導のもと、一人一人チェーンソーでの作業を体験していきましました。林内はある程度間伐が行われているもののヒノキが込み入った人工林で、枝が引っ掛かってなかなか倒れない状況でしたが、引っ掛かった木をロープで引っ張るなど、協力しながら間伐を進めました。また、学生の皆さんは説明を受けるだけでなく、組合の方に対して林業の仕事や高知県の森林の状況について質問もしていました。</p> <p>ヒノキの切り口は清々しい香りで、皆さん輪切りにしたものを持ち帰っていました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>

現場でお弁当を食べた後は下山し、物部森林ストックヤードを見学しました。

広い敷地には丸太が大量に置かれていて、トラックやフォークリフトなどがせわしなく動いていました。学生の皆さんはストックヤード職員の方からの木材価格などの説明を熱心に聴き、ここでもたくさん質問が出ていました。

丸太を自動で選別するコンベアも稼働中で、コンベアからきちんと大きさ別に丸太が下ろされる様子を見ながら、オペレータの方の話を伺ったりもしました。効率向上のためのシステム改良の話をしている学生さんもいました。この辺りはさすが工科大生です。



ストックヤードの見学をもって、この日のプログラムは無事終了しました。イベントを通して、学生の皆さんの積極的に多くを学びとろうとする姿勢がとても印象的でした。機会があればまたこういったイベントに参加していただきたいです。

